



消防大学校だより

緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース(第7回)

消防大学校では、平成24年4月18日から26日まで、緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース(第7回)を開講しました。本コースには、全国から緊急消防援助隊の指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県隊長又は都道府県隊指揮隊長として活躍が期待される35名(交代要員等含む。)が受講し、緊急消防援助隊の指揮者として必要となる知識及び能力の修得に努めました。

本コースでは、平成23年3月に発生した東日本大震災において、消防応援活動調整本部指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県隊長及び受援側代表消防本部として活躍した方々を講師として招聘し、応援側、受援側両方の立場から活動事例に基づく講義を受けることにより、緊急消防援助隊運用時に配慮しなければならないこと、他機関との連携に関すること、調整時の苦慮した事柄などを学び、今後の応援・受援に関する認識をさらに深めました。

また、消防応援活動調整本部、被災地災害対策本部等の運営要領についてのシミュレーション訓練を実施し、

学生が被災都道府県の調整本部員又は指揮支援部隊長等となり、時間経過とともに付与される災害事象の推移、実態把握、情報収集、整理・分析及び伝達等の検証も行いました。

研修後の感想では、「実災害での体験談を聴講し、指揮者としての立場を踏まえた役割、任務の重要性及び困難性を学ぶことができた。」「シミュレーション訓練を通じて応援側・受援側県隊長としての難しさを再認識することができた。」などのほか、「研修を通じて部隊の運用要領、部隊派遣時の留意すべき事項について理解を深めることができた。」などの感想が寄せられました。

すべての学生が、緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等としていつ出動要請があってもおかしくないという緊張感を持って真剣に授業に臨み、短い期間ではありましたが中身の濃い有意義なコースとなりました。今回の研修で培われた成果が、今後の業務に大いに役立てられることを期待します。



シミュレーション訓練風景

状況付与画面写真



シミュレーション訓練風景



消防応援活動調整本部 指揮支援部隊長
(札幌市消防局:佐藤講師)からの講義風景

平成24年度中の講師派遣について

消防大学校では、技術的援助として、消防学校からの要請により、警防、予防、救急、救助等の消防行政・消防技術について講師の派遣を行っています。

平成24年度は、38校105件（404時間）の授業に対して講師派遣を予定しています。

近年は、災害の複雑多様化、住民ニーズの増大等、時代の変化に伴い、消防学校における教育訓練も高度で専門的な内容が求められています。

このため、総合教育においては、消防行政の現状と課題に関し背景や対応等に対するもの、専科教育においては専門性が高い分野について全国水準の技術に直

接触れようとするものについて、講師派遣の要望が多く寄せられており、これらに積極的に応えていくこととしています。

また、消防学校において、科の新設、教育内容の充実のため授業数の増、先駆的な教育内容の導入を行う場合などにおいても、講師を派遣するなどの技術的援助を行います。消防学校において、新たな教育を計画され、講師の派遣を必要とされる場合は、消防大学校教務部までご相談ください。

今後とも消防大学校では、消防学校との連携を密にしつつ、消防職・団員の資質向上に努めて参ります。

平成24年度 講師派遣の予定

区分		講義内容	件数	時間数
総合教育	上級幹部科	人事管理、業務管理、危機管理	8	29
	中級幹部科	消防行政の現状と課題、消防時事、業務管理、現場指揮 等	14	52
	初級幹部科	消防行政の現状と課題	1	4
専科教育	警防科	消防戦術と安全管理、警防行政の現状と課題	8	32
	特殊災害科	特殊災害概論、安全管理、特殊災害に対する消防活動要領 等	12	47
	予防査察科	違反処理、予防査察行政の現状と課題、査察	17	68
	危険物科	危険物行政の現場と課題、危険物行政概論、危険物規制	5	20
	火災調査科	鑑定・鑑識、原因調査、火災調査概論、原因調査関係法規 等	15	59
	救助科	安全管理、指揮隊運用、消防戦術等と安全管理	15	59
	救急科	救助行政の現状と課題、救急業務及び救急医学の基礎 等	4	14
その他		現場指揮、安全管理、高度救助・特別高度救助教育	6	20
計			105	404